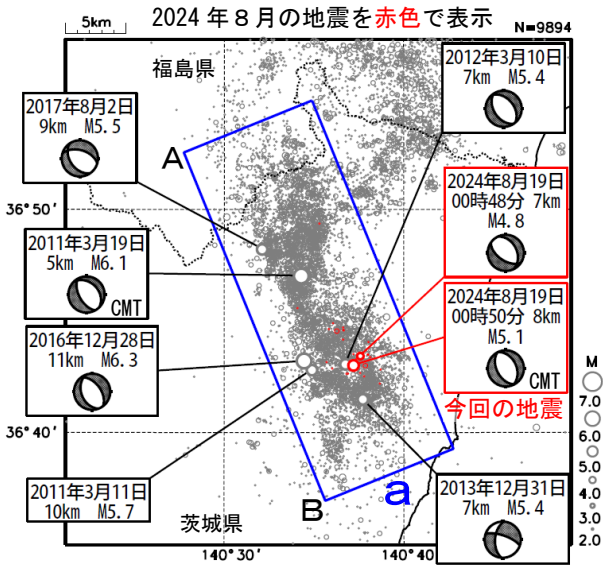
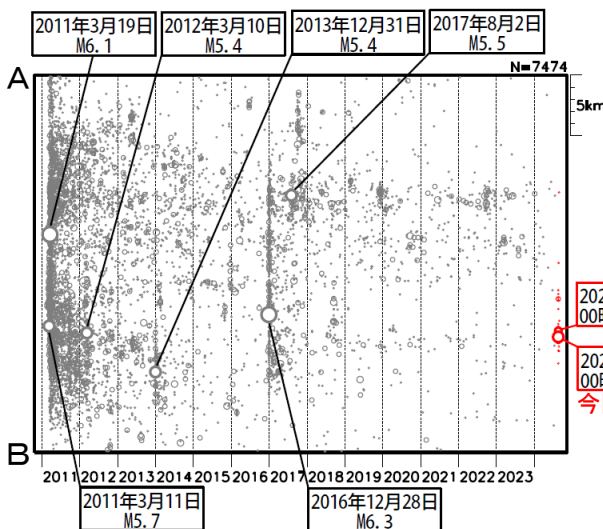


8月19日 茨城県北部の地震

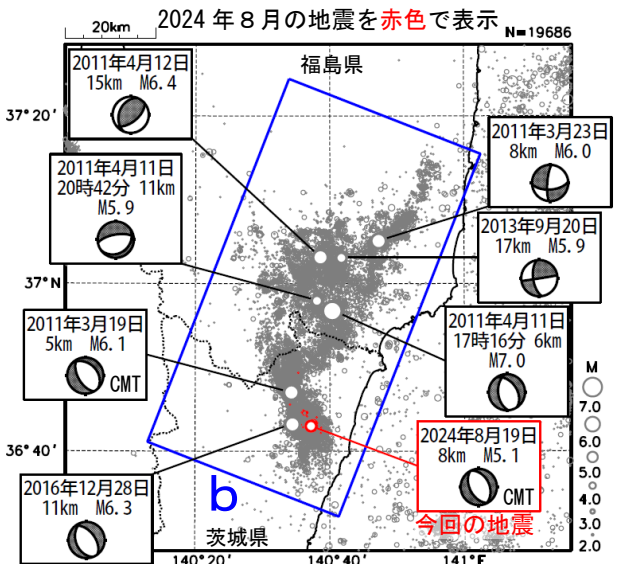
震央分布図
(2011年1月1日～2024年8月31日、
深さ0～20km、M≥2.0)



領域a内の時空間分布図 (A-B投影)



震央分布図
(1997年10月1日～2024年8月31日、
深さ0～30km、M≥2.0)

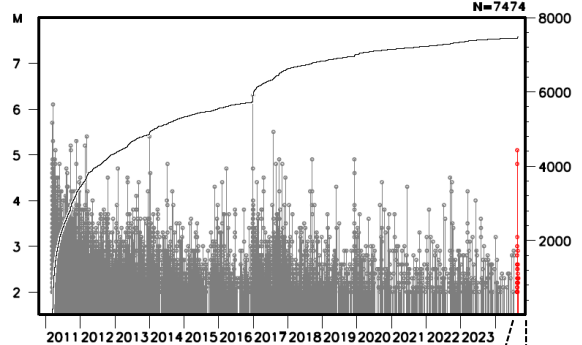


2024年8月19日00時50分に茨城県北部の深さ8kmでM5.1の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は東北東-西南西方向に張力軸を持つ正断層型である。また、この地震の震央付近では、この地震の約2分前の00時48分にM4.8の地震(最大震度4)が発生した。これらの地震は地殻内で発生した。今回の地震の震央付近では、8月19日から23日までに震度1以上を観測した地震が6回(震度5弱:1回、震度4:1回、震度1:4回)発生した。

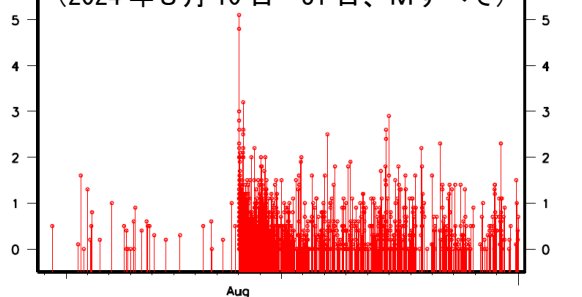
2011年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域a)では、M5.0以上の地震が時々発生している。2016年12月28日に発生したM6.3の地震(最大震度6弱)では、茨城県で軽傷2人、住家半壊1棟、一部破損25棟などの被害が生じた(被害は総務省消防庁による)。

1997年10月以降の活動をみると、福島県浜通りから茨城県北部にかけての地殻内(領域b)では、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」(以下、「東北地方太平洋沖地震」)の発生後に地震活動が活発化し、2011年4月11日に発生したM7.0の地震(最大震度6弱)では、死者4人などの被害が生じた(被害は総務省消防庁による)。この活発な地震活動は徐々に減衰しつつも継続している。

領域a内のM-T図及び回数積算図



(2024年8月10日～31日、Mすべて)



領域b内のM-T図及び回数積算図

